

(19) 【発行国】日本国特許庁(JP)

(45) 【発行日】平成19年9月3日(2007.9.3)

(12) 【公報種別】意匠公報(S)

(11) 【登録番号】意匠登録第1309357号(D1309357)

(24) 【登録日】平成19年8月3日(2007.8.3)

(54) 【意匠に係る物品】高気圧酸素補給カプセル

(52) 【意匠分類】J7-0

(51) 【国際意匠分類(参考)】24-01、24-02、24-03、24-04

(21) 【出願番号】意願2006-24276(D2006-24276)

(22) 【出願日】平成18年9月12日(2006.9.12)

(72) 【創作者】

【氏名】横澤 司郎

【住所又は居所】埼玉県さいたま市浦和区常盤二丁目10番2号 株式会社エア・テクノロジーズ内

(73) 【意匠権者】

【識別番号】506308541

【氏名又は名称】株式会社エア・テクノロジーズ

【住所又は居所】埼玉県さいたま市浦和区常盤二丁目10番2号

(74) 【代理人】

【識別番号】100112689

【弁理士】

【氏名又は名称】佐原 雅史

(74) 【代理人】

【識別番号】100128934

【弁理士】

【氏名又は名称】横田 一樹

【審査官】小林 裕和

(56) 【参考文献】意登1241801 意登1277828 意登1282088

(55) 【意匠に係る物品の説明】本物品は、酸素を充填することによって内部空間を高気圧状態にするカプセルである。利用者は、カプセル内部に配置されるベッドに寝ることで、高気圧の酸素を補給する。カプセルの胴部に形成される出入口の内周壁側には、開閉可能なスライド式のドアが設置されている。カプセルの内周壁には、長手方向に沿ってパイプ状のレールが2本設置されている。また、ドアの縁には略三日月形状の補強リブが固定されており、この補強リブが上記レール上を移動することによってドアがカプセル長手方向にスライドする。ドアを閉めた状態において、酸素充填により内圧が高まると、カプセルの内側に配置されるドアが、その圧力によってカプセルの出入口の周縁に押し付けられ、自動的に気密性が高められる。出入口は、カプセルの胴部の周方向一方に多少傾いた状態で開口している。なお、カプセルの一方の端部中央に設置されているバルブは、カプセル内外双方から操作可能な緊急用の排気弁である。

(55) 【意匠の説明】カプセルの全長は2.3メートルであって、胴部分の直径は0.8メートルである。カプセル両端の部分球形状に突出した部分は透明であり、内部のベッドを覗き見ることができる。カプセルの胴部分の出入口に設置されているドアは透明であり、閉めた状態でも内部のベッドを覗き見ることができる。ドアを閉じた状態の参考斜視図及びドアを途中まで開けた状態の参考斜視図において、透明部分には円弧状の平行斜線を施している。

【図面】

【ドアを閉じた状態の参考斜視図】